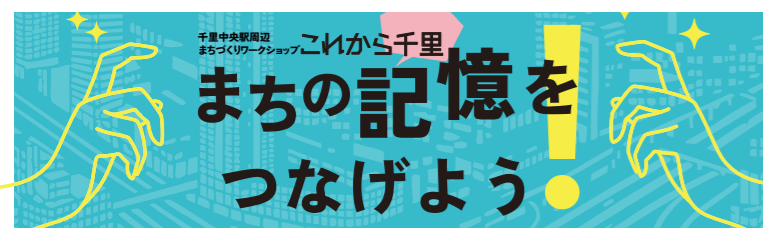


2025年度の取り組み

1962年のまちびらきから始まった千里ニュータウンの歴史。これまで長い年月をかけて、さまざまな人々の暮らしが積み重なり、まちの風景がかたちづくられてきました。そして、ライフスタイルの変化にともない、まちの風景も少しずつ変化していきます。まちに根付く魅力を探り、未来の暮らしを想像し、千里のこれからを考えるヒントを見つけながら、未来へとつなぐ方法をみんなで考え、実践するワークショップを開催しました。



千里のまちを調査し発信し続ける二組のゲスト(ディスカバー千里、もぐら調査団)を招いて、調査の手法や大切な考え方を学びました。



千里のまちあるきから始まり、魅力ある千里の記憶を次の世代に引き継ぐ取り組みを考え、実践する全4回のワークショップを開催しました。



第1回 12/13 ⑨ まちの記憶をさがそう

千里のまちを歩きながら、風景・音・料理・祭り・人・遊びなど、次の世代に伝えたい「まちの資源」を探しました。

第2回 12/21 ⑨ 記憶をつなぐ取り組みを考えよう1

第1回で集めた「まちの記憶」を整理しながら、多くの人に伝えるための発信方法(体験プログラム・展示など)を検討します。

第3回 1/24 ⑨ 記憶をつなぐ取り組みを考えよう2

発信に向けてチームをつくり、チームのメンバーと一緒に情報を編集し、整えます。

第4回 2/14 ⑨ 記憶をつなぐ取り組みを準備しよう

フェスに向けて、体験プログラムや展示内容を仕上げます。企画の内容をもとに、広報の内容を整理します。

お披露目会 3/28 ⑨ せんりひとつなぎフェス

これまでのワークショップで考えてきた内容をもとに、各チームが企画したプログラムや展示をお披露目します。

これまでの「これから千里」の取り組み

2018年度

千里中央地区活性化基本計画
千里中央駅周辺の再整備の方針を示した計画。官民が連携するエリアマネジメントを推進。

2022年度

千里中央駅周辺のこれからの考えるワークショップ2022
これからの千里が“こうなったらいいな”という将来像を考えました。



2023年度

せんりまなぶくらす
本事業に参画する企業のみなさんと、千里のことを学び企業として地域と連携するアイデアを考えました。



千里中央駅周辺のこれからの考えるワークショップ2023

企業からのアイデアをさらに地域のみなさんとブラッシュアップするワークショップを開催しました。



千里アクティビティガイドーこれ、せん？ー

ワークショップで生まれた地域と企業が連携して実現したいアイデアをアクティビティガイドとしてまとめました。



2024年度

千里のの交流会

地域住民と企業のみなさんが交流できる機会づくりとして交流会を開催しました。



千里中央駅周辺のこれからの考えるワークショップ2024

「これせん」の実現に向けて、具体的な活動を考え実践するワークショップを開催しました。



千里ひとつなぎフェス

千里中央駅や東町公園を会場に、ワークショップから生まれた活動を実践しました。



詳細は豊中市HPより

あなたの一歩で何かが始まる

せんり ひとつなぎ フェス Newsletter

2026年3月28日(土)、千里のまちを舞台に、人と地域と記憶をつなぐお祭りを開催しました。1962年のまちびらきから始まった千里ニュータウン。まちに根付く魅力を発信し、これまで大事にしてきた記憶を次世代につなげるようなプログラムを開催しました。





1

【大募集】 あなたの「せんちゅう」への想い

コラボ前の通路を会場に、千里中央の好きなところや未来への願い、感謝の気持ちなどを募集し掲示しました。当日は多くの方にご参加いただき、たくさんのメッセージが寄せられました。来場者同士が想いを共有する場となり、千里への愛着を感じられる時間となりました。



これまでの想いや記憶を可視化し、来場者同士で共有できる場をつくることができました。それぞれがまちとの関わりやこれからの想いを表現する機会となり、多様な視点を通してまちの魅力を捉え直すきっかけとなりました。



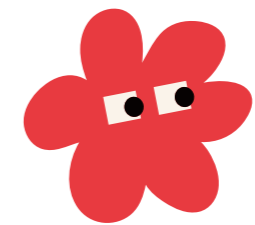
3

叫ぼう！ 未来につなぐ大声コンテスト

大声で叫ぶコンテストを開催しました。参加者は思いきり声を出しながら楽しみ、会場全体が一体となって盛り上がりました。小さな子どもから大人まで参加し、みなさんの思い出に残るような機会になりました。



簡単なプログラムで、世代を問わず気軽に参加できる内容とすることができました。コンテスト形式でランキングを設けたことで、来場者の参加意識や楽しみを高めることにつながりました。



4

あなたの想いで まちの未来を描こう

コラボのガラス窓を使って、昔や今の千里中央の姿を写真で展示し、その変化について語り合う場をつくりました。あわせて、これからの千里中央に「あったらいいな」と思うものを、ガラス面に絵や言葉で表現してもらい、多様なアイデアを募りました。当日は子どもから大人までたくさんの人たちが参加し、未来を語りました。



ガラス面に描くことで視認性が高く、多くの人の目に触れる展示となりました。写真展示では、世代を超えた対話が自然に生まれる仕掛けをつくることができました。



2

当日参加OK！ せんちゅうラジオの時間♪

『あなたの「せんちゅう」への想い』のプログラムで集まったメッセージを、ラジオパーソナリティが読み上げる企画を実施しました。飛び込みで参加するゲストもあり、それぞれの言葉で千里中央への想いを発信する場となりました。



メッセージの読み上げに加えて、他のプログラムの紹介も行い、会場全体の様子や動きを伝える役割を果たしていました。各企画をゆるやかにつなぐことで、来場者が会場全体を回遊しやすい雰囲気づくりにもつながりました。



5

デッキに大きな 未来を描こう

デッキにチョークを使い大きな絵を描くワークショップを行いました。参加者は自由に描きながら表現する楽しさを味わい、最後はみんなで作品を消すところまで体験しました。



6

せんりまちあるきミステリー

コラボ前をスタート地点に、SENritoや東町までを周遊する謎解きプログラムを開催しました。地図やヒントを手がかりに謎解きに挑戦しながら、千里の風景や歴史に触れました。謎解きを通して、まちの魅力を再発見する機会になりました。



クイズを解きながら千里中央駅周辺を歩くことで、まちの魅力を再発見する機会となりました。難易度をやや高めに設定したことで、考える楽しさや達成感のあるプログラムとすることができました。



7

千里の青竹ふみふみ、 ぽかぽか体操。

千里の竹を使った青竹踏みと体操を組み合わせたプログラムを実施しました。親子で参加する姿も多く見られ、楽しみながら健康づくりを体験する場となりました。千里の自然から生まれた素材に触れながら、心身ともにリフレッシュできる時間となりました。



「千里竹の会 豊中」や地域のフィットネスクラブのインストラクターと連携することで、専門性を活かしたプログラムにすることができました。地域の団体同士の協力により、内容の充実とつながりを生み出す機会にもなりました。

